

ネルソン吉村大志郎 Daishiro Nelson YOSHIMURA

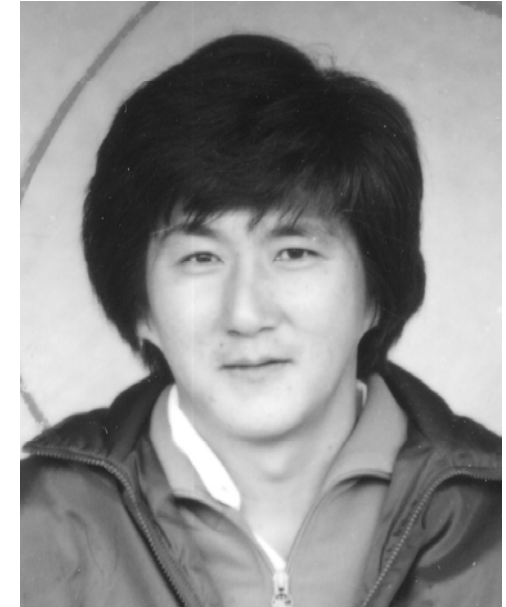
●1947年8月16日、ブラジル・サンパウロ生まれ

日本サッカーリーグ(JSL)初の日系ブラジル人選手。

1967年にヤンマーに加入し、柔らかなボールタッチとテクニックで衝撃を与えるとともに、当時急激に成長しつつあったFW釜本邦茂のアシスト役として好パスを配給した。1968年度天皇杯全日本選手権、1971年度JSL1部でヤンマーに初優勝をもたらし、1972年度アシスト王獲得、1980年の現役引退までにJSL1部優勝4回、天皇杯優勝3回(1978年は二冠)に貢献、ヤンマーの絶頂期を築いた。JSLで189試合に出場し30得点、54アシスト、年間優秀11人賞4回受賞。

ヤンマーでの活躍だけでなく、1970年には日本国籍を取得し、日本代表としても貢献、貴重なテクニシャンとして攻撃をリードするとともに、7年間にわたって献身的にプレーした。吉村の華麗なプレーは、ブラジルサッカーの個人技が「日本人でもここまでできる」ことを認識させ、後に日本のサッカーがブラジルスタイルに傾倒していく際の大きな勇気づけとなった。日本代表として101(Aマッチは46)試合出場、10(Aマッチは7)得点。

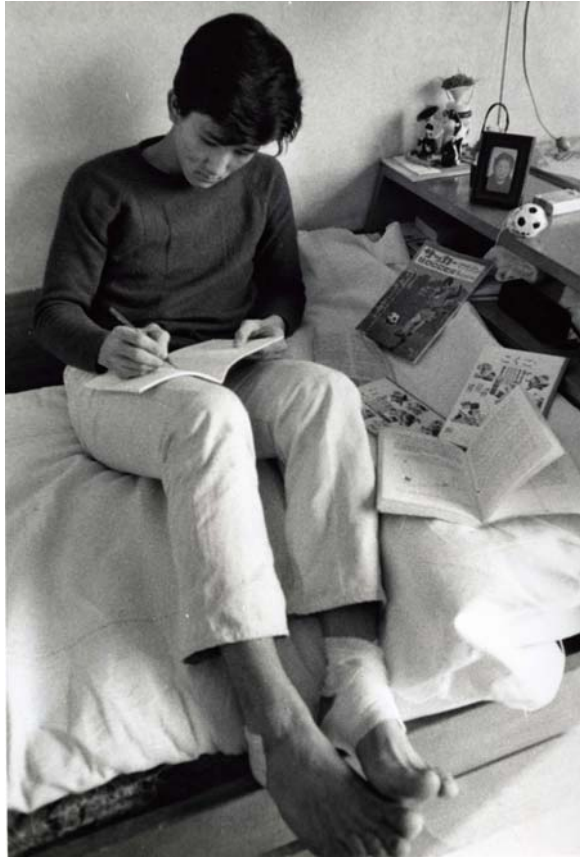
引退後は指導者となり、若手の育成、タレント発掘など地道な仕事で日本サッカーの発展を支えた。1981～89年ヤンマーコーチを経て、1990～94年監督として指揮をとり、セレッソ大阪の礎を築いた。



© studio aupa

2003年没

1976年 日本代表対リエカ



日本語勉強の様子



© studio aupa



1976年 クイーンズカップ(タイ)

© studio aupa